



FAS住まい新聞

(株)ホームズ

倉吉市八屋 140-1

Tel 0858-26-9002

fax 0858-26-7155

◇ 温度と湿度 ◇

◆湿度管理の在り方

住む人のカラダに優しい家、省エネで環境や居住者に負担をかけない家、丈夫で長持ちする家、ランニングコストがかからない家などと、ハウスメーカーやスーパービルダー、各工務店は様々な研鑽を積みながら、営業合戦を繰り広げています。

その中で私達ファース・グループが供給する「ファースの家」の特徴の一つに、水分管理（湿度管理）をするというのがあります。

湿度が40～50%（家屋内の理想的な生活湿度）になるよう、床下にはファースシリカ（シリカゲルの湿気吸放湿機能を高めて処方した専用空気清浄調湿剤、）約200kgを敷設しています。

◆シームレス状の断熱気密層・専用換気システム

樹脂スプレー断熱材・エアクララを現場でスプレー発泡する事でシームレス状に構築した高い気密と断熱性能を持たせています。

熱だけではなく、湿気の交換率も高めた専用換気システム（ダブルエレメント採用）で真冬の乾燥した空気や真夏の多湿空気がそのまま入らないようにする仕組みを備えています。

その空気を家中に空気循環させ、家屋内全体が、快適な温度と湿度環境になるように構築されています。

◆天井裏エアコンとの組み合わせで

「ファースの家」は、天井裏エアコンと専用換気システムの組み合わせに加え、PM2.5除去を行う装置をオプションで追加することができます。

40～50%の湿度環境が良いと言われるのは、過乾燥で30%以下になるとインフルエンザの菌が生存しやすくなり、70%を超えると腐朽菌が増えやすくなります。気温20℃、湿度30%の時の露点温度は、殆ど結露は起きませんが、風邪を引きやすい環境と云えます。

気温が20℃、相対湿度が50%の時は結露が発生する温度（露点温度）が9.3℃で、快適湿度ですが乾燥状態の30%よりは結露が発生しやすくなります。この温湿度を「ファースの家」は、天井裏エアコンとファースシリカでキープするようにしています。

◆結露のしない家はない

報道等で乾燥状態をなくすため、加湿等の使用を促しますが、加湿するという事は結露やカビやダニが発生し易い環境をあえてつくる事でもあり木材等に

は、腐朽菌を発生させ腐り易い状況にもなります。

「うちの家は結露がしない!!」という家は、乾きすぎて菌が繁殖しやすく、口も乾きやすくなり、気管や鼻の中の粘膜や繊毛の活動も弱めてしまい、健康にも影響を及ぼす原因となります。

部屋に洗濯物を干すと一気に気温 20℃で湿度が 80%まで高くなる場合があり、その際の結露が発生する温度（露点温度）は 16℃ですから僅か 4℃低い部分に結露を起こします。

家の性能に関係なく、ライフスタイルで結露の発生しない家はありません。

◇ 窓まわりの施工に注意を ◇

昨今は断熱断点のない外張り断熱の住宅が増えています。断熱材の厚さの分だけ外壁が外側に迫り出すため、窓などを支える木材下地、スペーサーなどには高度な施工技能が求められます。

雨水の漏水や冷氣、暖気が家の中に入らないようにするためにも、しっかりとした気密処理とサッシを支えるための支持力が必要になります。

気密テープ 1 枚で完璧とは云えません。家は、地震や台風などで色々な角度からの揺れが起こります。また、木材も乾燥材を使用したとしても含水量が一桁台まで収縮します。

気密テープだけに頼ってしまっただけでは不安だということを言わざるをえません。サッシ廻りの内装材部分で結露が発生する際は、硬質ウレタンのスプレー断熱材などで完全な施工が必要です。
(著 札幌事務所 中村文紀)

幸太の知恵袋

料理の味付けに失敗したときは

あらあら、味付けに失敗しちゃったって？

でも、捨ててしまうのはもったいないねえ。知恵袋で一工夫しようかね。和食なら「かつお節」、洋食なら「バター」、中華なら「ごま油」、このひと手間をかけて、火を通してごらん。なんだか、不思議に味がまとまってくるんだよ。もう一つおまけだよ。イタリアンなら、「パルメザンチーズ」を使ってごらん。

美味しい夕御飯ができあがるよう、がんばっておくれ。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで!



ファースの家

検索

